整理番号　11

事　前　評　価　個　表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度(5年間)
事業実施地区名 （都道府県名）	（おおよどかわ） 大淀川森林計画区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎森林管理署都城支署

事業の概要・目的	大淀川森林計画区は、宮崎県中部に位置し、大淀川の源流部から海岸にそそぐ河口部までの89,380haの国有林野を対象としている。このうち都城支署が管轄する国有林野は42,145haである。 当計画区は、カシ類、シイ類、ミズナラ等の生育する天然林とスギ、ヒノキの人工林からなり、その多くは霧島屋久国立公園や国及び県指定の自然環境保全地域に指定されている。また、水源かん養保安林を主体とした保安林が全体の81%以上に達し、下流の宮崎市等の水がめとして重要な役割を担っている。さらに、森林資源を利用した木材加工業や椎茸栽培等は地域の重要な産業となっている。 本事業は、これらの状況を踏まえながら、国有林の有する水源かん養機能や保健文化機能など公益的機能の維持増進に重点を置きつつ、持続可能な森林経営に資するための路網整備を推進しながら適切な森林整備等を行うことを目的とする。 主な事業内容　森林整備　更新面積　589 ha 保育面積　6,815 ha 路網整備　開設延長　4.7 km 改良延長　12.6 km
費用対効果分析	総 費 用（C）　1,877,343 千円
	総 便 益（B）　水源かん養便益　9,041,016 千円 山地保全便益　2,103,930 千円 環境保全便益　302,883 千円 木材生産便益　2,519,923 千円 森林整備経費縮減等便益　152,039 千円 計　14,119,791 千円
	分析結果（B／C）　7.52
評価結果	・必要性：　自然環境の維持・保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮に対する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性：　国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性：　費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。